

委員会だより

<10月6日(日) 11名出席>

【1】財務報告：9月度収支 甲斐さん 委員会了承

【2】お知らせコーナー：

① 10/6 秋期典礼研修会 於雪の下教会 平瀬さん出席

② 9/26 お聖堂天井内装工事手直し完了

③ 10/1 下水道工事(水洗本管接続)完了

④ 網戸補修及び新規取付工事 新規を除き完了

⑤ 9/14(土)第一回バザー委員会が開かれました。概要説明が甲斐さん、花坂さんよりありました。泉保健所長宛模擬店開催届を10/15頃提出の予定。従来通り食品取り扱い遵守事項を守りましょう。

第2回バザー委員会 10/19(土)AM.10 開催します。

⑥ 青少年問題対策を考える会(本日別室にて)小野寺さんを中心に開いています。委員会のバックアップを申し合わす。

⑦ 婦人会有志の方により庭の手入れ及び模様替え、感謝します。費用は委員会会計にご請求下さい。

⑧ 七五三お祝い、該当者有無、申し込み書に記入下さい。千歳飴準備。

⑨ 主の降誕準備、赦しの秘蹟 12/15(日)鶴飼神父様ご指導。12/21(土)大掃除。

⑩ 消防署通達、消防訓練参加 今回も見送り。

⑪ 第六回聖歌の集い 準備集会 11/3於山手教会 石井さん出席予定。

⑫ 宣教委員会 9/29(日)於片瀬教会 甲斐さん、丸田さん、出席。別紙レポートあり。

【3】お話し合いコーナー：

① 大型掃除機購入手配 婦人会のある方より多額の寄付金あり、利用させていただきます。

② 舗装工事(新集会室建屋わきより台所階段迄)見積金額¥358,028。発注を決定。

③ 所番地変更の為変更届用紙作成。教会信徒台帳訂正の必要ありと神父様談。

④ お聖堂にて使用パイプ椅子の錆防止策、床に鉄錆がついて掃除してもきれいにならない。試験的に軟質のビニールホースを裂いて床との接触部パイプにはめてみる。

⑤ 将来の構想としてお聖堂の屋根ふき替えを考えてみましょう。

壮年会だより

<10月20日(日) 13名出席>

1. 住所の更新を行っている。変更された方は事務所にて変更通知書に記入されるように願います。

2. バザー(10/27)は予定通り実施する。

【確認事項】

内容	売値	責任者
焼き鳥×5本	¥300	小野さん
イカ×1	¥300	七浦さん
焼きそば×1	¥300	石井さん

【バザー準備】

10/26(土) 10:00よりテント、床張りを行う。

10/26御ミサ PM.4:00、PM.7:00

3. ハイキング

日時: 11/10(日)9:00御ミサ後

場所: 舞岡駅下車。舞岡公園。当日参加もOK。楽なコースなので多数の参加をお待ちします。

4. 椅子の補修。錆対策処置を11/17の定例会時に行う。

婦人会だより

<10月20日(日) 32名出席>

・委員会の報告

・皆様の御協力と御寄付により、10月27日バザーも無事開催されることとなりました。

・今回は食中毒の問題もあり、各自衛生面には十分注意して準備を進めるようお願いがありました。前日のお手伝いは、午後1時からお願い致しました。

・11月は死者の月ですので、婦人会として物故者のための御ミサを11月1日(金)10時行います。

・宣教委員会の丸田様より活動報告がありました。2年間活動して頂きました。次回はB地区の町田保子様に決まりました。

・同志会主催の映画と福音コールチャリティーコンサートの御案内がありました。

次回例会 11月17日(日) 次回当番はA地区です。



今月の予定

(死者の月)

委員会	11月 3日
七五三	11月15日
聖書週間	11月17～24日
サロン	11月10,24日
レジオ	11月8,15,22,29日



第219回

カトリック中和田教会

広報委員会発行

泉区中田北 1丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

1996年 11月3日



模索の補冊 ③

山崎 正俊

◎ 全能の神様には、そんなに義理がたく私を生かしておかなければならないわけなどあるはずはないのですから、あまり深入りしないうちに、消してしまわれればよいのです。けれども私はなんとしても、神様のおはからいには、喜んで従わなければならないと、きめているのですからね。私だって、神様の身勝手から、この世に生命を与えられてしまったのですし、それに義理だてするヒマなどはありませんが、その初心には忠実でありたいばかりに、頑張っているわけなのです。

◎ 青伝さんと呼ばれている、国宝的な信徒の親父さんがありました。教会からの謝礼はそのまま、国債のために使っておられた。教会の敷地内に住んでいる人たちは、その余裕がなかったの、割り当てられた枚数をこなせない。それで、奥様の身入りを当てにすることであったのに、あのお宅では教会経営の学校を利用して、子供たちの学費を節約しているという悪口がささやかれていたそう。これは無茶な言い掛かりだった。その二人の息子さんは、戦後になると、神父としてその生涯をささげておられる。娘さんの一人は修道院にはいられた。その御長男が叙階されて、その父上のちゅうこく。それには驚いた。一ははじめの年は、「私は教会にお勤めしています。」次の年になると、それがほんのすこし変わる、「教会のお手伝いをしております。」そのあとの年からは、夢見るような表情になる。「あの神父さまのお世話を続けていますの。」いつの間にか、愛情深くなってゆく。(聞いた言葉とはかなり違ったものになっているのかもしれない。四十数年も前の記憶だから。)心しなければならぬなりゆきでも、ごく普通のことだという。——神父が家庭を持たぬわけは、その愛情を、特定の人ではなく、

すべての人にわけへだてなく与えるためなのだ。ほらね。イエズスさまはあの十字架の上で、母のマリアを弟子のヨハネにおまかせになったが、ご自分を敵に売り渡すような者のためにも、その救いを祈っておられる。これが「新しい愛の教え」の手本。

◎ わしは教会でなんか、結婚式をさせるつもりはなかったと云っていた祖父は、朗々たる声で祝詞(のりと)を、おっぱじめたりなされる。それでも、とうとう、先例を授けられることになる。結婚したい相手がカトリックだった父は、ホレていたから、ためらっていた教会での式を挙げてしまい、聖書を密かに学んでおられたのか、カトリックの熱心な門徒などに加わる。その熱があがりっぱなしのところ、長男として生まれたこの私などは、とぼちちりを受けて、いままも重荷になっている、このマリオ(真理雄)という名をもらい、大風呂敷のひろげすぎからだが、ウソオ(嘘男)に衣替えさせられ、大安心。これは親父のせい。あの他人のことばかり心配していて、早死にをした御母上の教えであるはずではない。弟が学者になったので、むつかしいところはみな弟まかせにできるから、この弟とコンビを組んで、あっちへウロウロこっちへウロウロ(といっても、いっけんヒヨクそうな此の教会のカコイが、案外に弾力性に富んでおったりして、跳ね返され、神様の手心の掛けすぎで、居心地のよさも格別。口のすべり具合もまことに好調)、日本語に訳された「聖なる司祭職」という小冊子など熟読させられ、さきは短いはずなのに、弟などは有難くもシブトク生き延びており、私のほうも多少のモウロクながら意外と元気。神様だってなにをさせたいのか、やりそこないも手違いもいいところ——。エ、ナンデ?

編集後記

素晴らしい晴天のもとバザーも無事終わり、皆様もほっと一息つかれていらっしゃるものと存じます。おかげさまで皆様の御協力により『広報・中和田』も順調に発行されております。新しく設けた青少年コーナーも、幅広い世代からのご投稿を頂いて、内容も一層充実して来ました。これから学生や若い社会人の方々にもご意見を伺いたく、御執筆をお願いにあがりますので、積極的に御協力下さい。(E.I)



あれから三年

美底 昭司

私達家族が初めて中和田教会を訪ねたのは、三年前の秋でした。鎌倉から、こちらへ引っ越す前に、家族三人でどんな教会だろうかと心はずませながら、車で出かけました。ところが、住所からは近くまで来ているはずなのに、なかなか教会を探せなかったことを覚えています。どうにか教会を見つけて、「こんにちは」と呼びかけましたら、山崎神父様に暖かく応対して頂きました。

あれから早三年が過ぎて行きました。いままで皆さんに暖かく声を掛けて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。

ある日ごミサ後に娘が、「教会に田舎のおじいちゃんとおばあちゃんがいっぱいだネ。」と喜んで言ったことがありました。最近では、お友達もできて、教会に行くことを楽しみにしています。

さて私が驚いたことは、壮年会の皆さんが可愛いエプロン姿でサロンのサービスをしていることでした。またサロンでは、皆さんが楽しく雑談しており、「ファミリー的で素敵だな」と思いました。

私も大先輩方の多い壮年会の一員となっていますが、現状ではおいしいコーヒー、或いはバザーのイカ焼き、その他多くの見習い生です。イカ焼き等は、あと10年の修行が必要と言われていますので、今後ともご指導方、よろしく御願ひ致します。



「シャロームの家」支援へのお礼とご報告

私たちは、寿町の夏まつりに出店参加する「シャロームの家」への支援を、おにぎり作りを通してここ数年続けてきましたが、今年例の「O-157」の件があるため、主幸の原木氏と相談の上すいかを提供することとなり、過日みなさまにカンパをお願いしましたところ、沢山のご協力を頂き、8月15日に早速すいかを届けることができました。

原木氏よりくれぐれもよろしくとのことでした。

下記に収支をご報告させていただき、ご参加下さったみなさまにお礼を申し上げます。

収入:	前回からの繰越	894
	カンパ総額	23,681
	収入合計	24,575
支出:	すいか(5個)代金	10,000
	現金による寄付	10,000
	車謝礼、その他	1,900
	支出合計	21,900
	次回への繰越	2,675

以上 世話人: 石川、岩崎

概算の報告ですが、このたびのバザー収入(利益)は、暫定で約**30万円**となりました。現在まとめの作業を続けていますので、近日中に確定報告いたします。

皆様ご協力有り難うございました。

バザー総合会計 甲斐 至信

ミサ 当番表 (96年11月、12月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
11/ 3	年間三十一主日	小野寺	岩 淵
11/10	年間三十二主日	青年会	石 川
11/17	年間三十三主日	婦人会A地区	森 田
11/24	王であるキリスト	宮 崎	大 宮
12/ 1	待降節第一主日	岩 淵	岩 淵
12/ 8	待降節第二主日	青年会	石 川
12/15	待降節第三主日	婦人会B地区	森 田
12/22	待降節第四主日	小 野	大 宮
12/24	主の降誕		岩 淵
12/29	聖家族	婦人会B地区	石 川

※当番の方は10分前には集合して下さい。
 ※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。
 (萩原: Tel 802-6258)

青少年コーナー



はっせいたいをうけて

まらり ときほる

8月10日にはっせいたいをうけました。石のせんのうのうをせんせいといっしょにかみさまのことをやんまうをしました。

イエズスクリスチさまのことでもんまうをしました。イエズスさまは、ひかりをつくらたのりさま、ひろい海青の空をうとびたぐさんのとり、海の中のうろな魚をうとびたぐたちをうく、てくれしました。ぼくは、イエズスさまにかんじがしていまう。ぼくはほれるのがだいすきです。サッカーがだいすきです。イエズスさまはうもありがとうございまして、ごせいたいは、イエズスさまです。イエズスさまは天のこのちです。しんぱすま、のしんせんせい、いのうをせんせいといっしょありがとうございしました。



白パンと白トレス

わたしは、はじめて、ごせいたいを、いただきます。

あの白パンは、どんなあじが、するのかな？ あまいのかな？ トレスは、わたしに、あうかな？ まちがわなうで、おいのりが、いえるかな？ いろいろなことを、かんがえて、いると、前の日の夜は、トレスをして、なかなかねむれなかつたです。

ごせいたいの白パンが、ミサの間に、イエズスさまの体に、かわるなんて、なんか、ふしぎなかんじが、しました。ミサが終、たあと、いしい先生に、「おりにうさんだ、たね。白トレスが、とて、もよく、あう、てるよ。」と言われてうれしかったです。

八月十日に初聖体を受けた真浦友晴君と橋本侑佳さんが、初聖体の感想を書いてくれました。

友達を作ろう

井上昭男

私が20年前に大学に入学した時、入学時のオリエンテーションで学長が、4年間の学生生活の中で、最低一人の親友を作って卒業してほしいと言われたことを今でも覚えています。喜びも、悲しみも共有できる、心打ち明けられる友達があなたにはいますか。

友だちは、すぐできても親友はなかなか出来るものではないと思います。

今の世の中で、いろいろな性格の環境にとりかこまれて生活し、その影響を受けつつ成長している若い君達にとって、今こそ親友を作っていくべき時ではないだろうか。教会に行っても友達がいないから行かないというのなら、君は友達を作ろうと努力しているのだろうか。隣人を自分のように愛しなさいと言われたイエズス様の言葉を思い出し、努力して、教会の中に友達を、いや親友を作してほしい。

そして、同じ宗教をもつ友と話し合う喜びを知ってほしい。自分が心を開き、友達に接していけば、必ず相手も心を開いて君に話してくれるはずである。